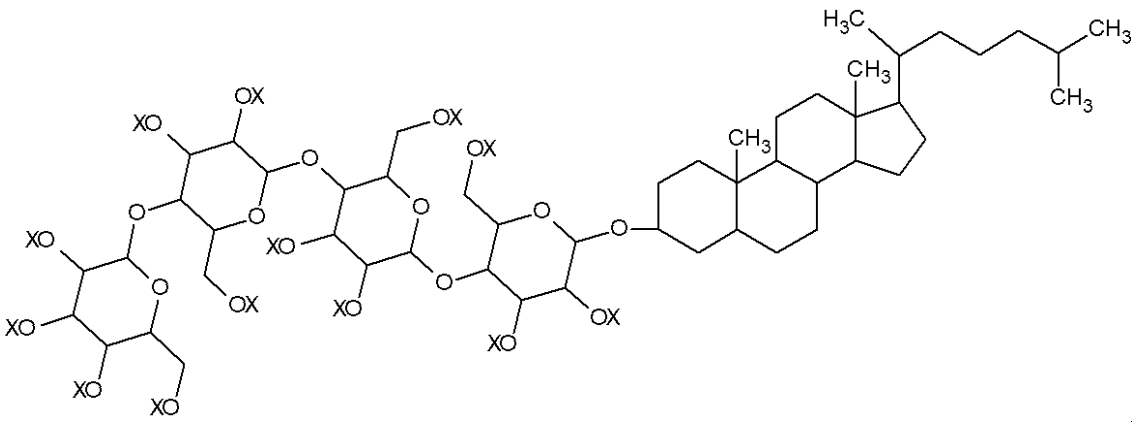
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和3年1月28日(2021.1.28)

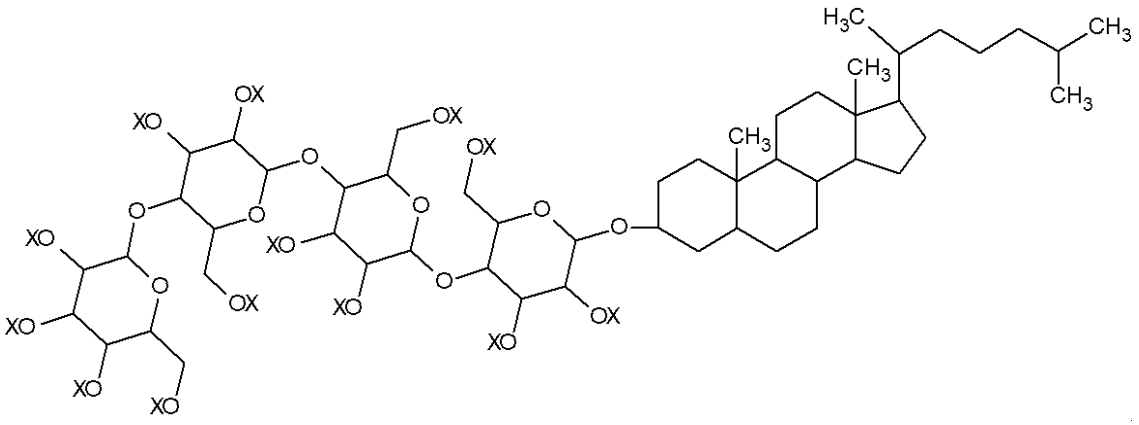
【公表番号】特表2020-502149(P2020-502149A)
【公表日】令和2年1月23日(2020.1.23)
【年通号数】公開・登録公報2020-003
【出願番号】特願2019-532008(P2019-532008)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/704　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/04　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　31/704
Ａ６１Ｐ　43/00　　１２１
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　37/04
Ａ６１Ｋ　39/395　　Ｎ

【手続補正書】
【提出日】令和2年12月14日(2020.12.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
癌を処置または予防するための医薬の製造における式(I)：
【化１】

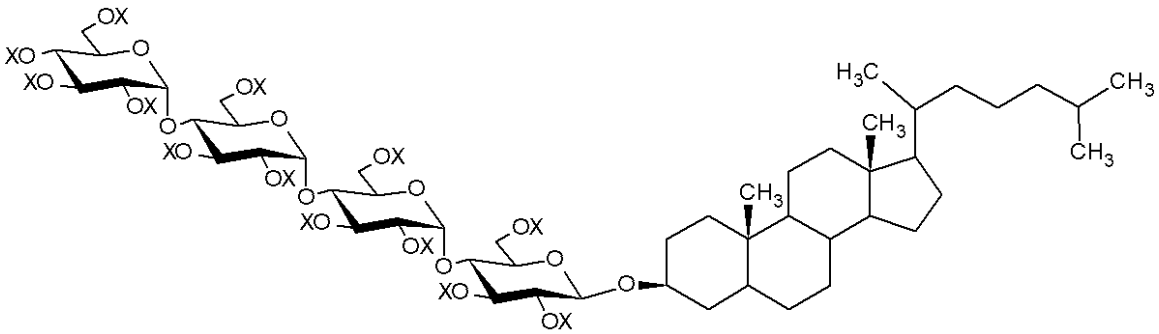


式(I)
［式中、Xは、SO_3MまたはHであり、Mは、任意の医薬的に許容されるカチオンであり、少なくとも70％のX基は、SO_3Mである］
で示される化合物の使用であって、前記医薬が免疫チェックポイント阻害剤と共に投与されるように製剤化され、前記免疫チェックポイント阻害剤がPD-1阻害剤である、使用。

【請求項２】
癌を処置または予防するための医薬の製造における免疫チェックポイント阻害剤の使用であって、前記医薬が式(I)：
【化２】



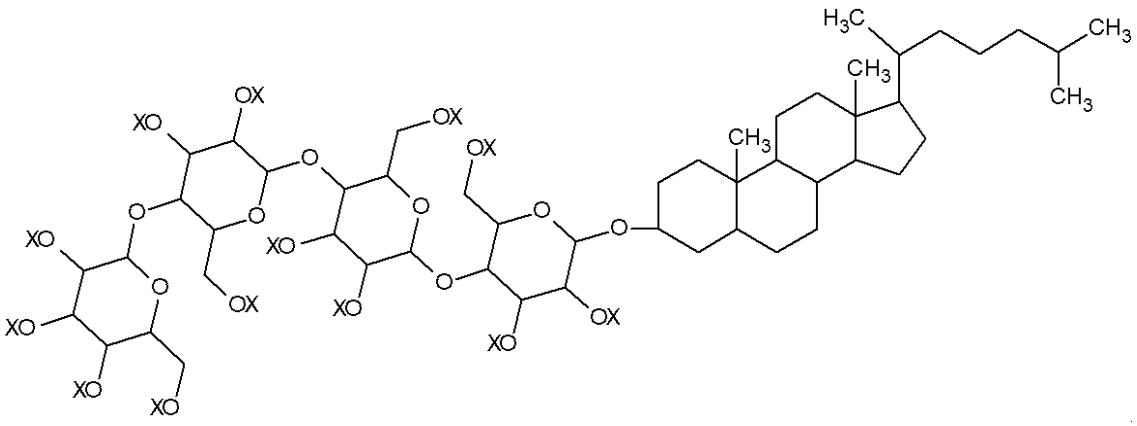
式(I)
［式中、Xは、SO_3MまたはHであり、Mは、任意の医薬的に許容されるカチオンであり、少なくとも70％のX基は、SO_3Mである］
で示される化合物と共に投与されるように製剤化され、前記免疫チェックポイント阻害剤がPD-1阻害剤である、使用。
【請求項３】
少なくとも90％のX基が、SO_3Mである、請求項1又は2に記載の使用。
【請求項４】
式(I)で示される化合物が、式(VI)：
【化３】



式(VI)
で示される化合物である、請求項1～3のいずれか一項に記載の使用。
【請求項５】
免疫チェックポイント阻害剤が、T細胞、ナチュラルキラー（NK）細胞、ナチュラルキラーT細胞（NKT）、γδT細胞、インバリアントT細胞、またはインバリアントナチュラルキラーT細胞（NKT）の1つ以上を標的とする、請求項1～4のいずれか一項に記載の使用。
【請求項６】
免疫チェックポイント阻害剤が、T細胞免疫チェックポイント阻害剤である、請求項1～5のいずれか一項に記載の使用。
【請求項７】
免疫チェックポイント阻害剤が、ニボルマブである、請求項1～4のいずれか一項に記載の使用。
【請求項８】
癌が、固形腫瘍である、請求項1～7のいずれか一項に記載の使用。
【請求項９】
式(I)で示される化合物および免疫チェックポイント阻害剤を含む医薬組成物または組

合せ医薬であって、式(I)で示される化合物は、

【化４】



式(I)

［式中、Xは、SO_3MまたはHであり、Mは、任意の医薬的に許容されるカチオンであり、少なくとも70％のX基は、SO_3Mである］

であり、前記免疫チェックポイント阻害剤がPD-1阻害剤である、医薬組成物または組合せ医薬。

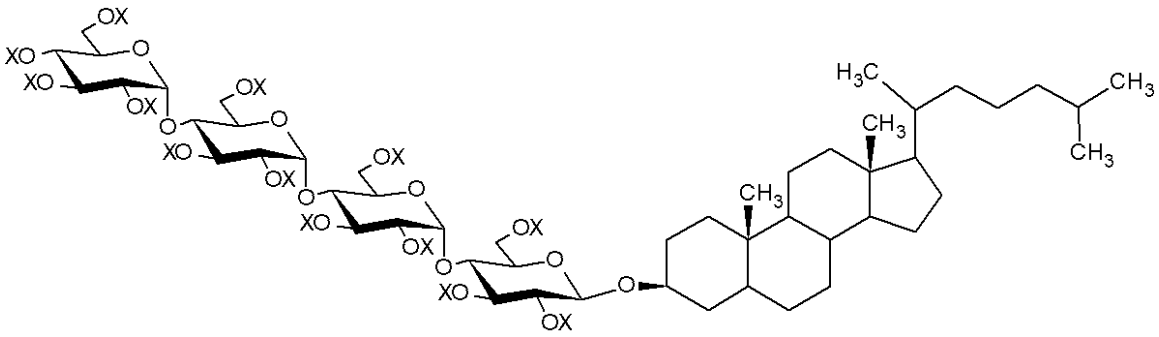
【請求項１０】

少なくとも90％のX基が、SO_3Mである、請求項9に記載の医薬組成物または組合せ医薬。

【請求項１１】

式(I)で示される化合物が、式(VI)：

【化５】



式(VI)

で示される化合物である、請求項9または10に記載の医薬組成物または組合せ医薬。

【請求項１２】

免疫チェックポイント阻害剤が、T細胞、ナチュラルキラー（NK）細胞、ナチュラルキラーT細胞（NKT）、γδT細胞、インバリアントT細胞、またはインバリアントナチュラルキラーT細胞（NKT）の1つ以上を標的とする、請求項9～11のいずれか一項に記載の医薬組成物または組合せ医薬。

【請求項１３】

免疫チェックポイント阻害剤が、T細胞免疫チェックポイント阻害剤である、請求項9～12のいずれか一項に記載の医薬組成物または組合せ医薬。

【請求項１４】

免疫チェックポイント阻害剤が、ニボルマブである、請求項9～13のいずれか一項に記載の医薬組成物または組合せ医薬。

【請求項１５】

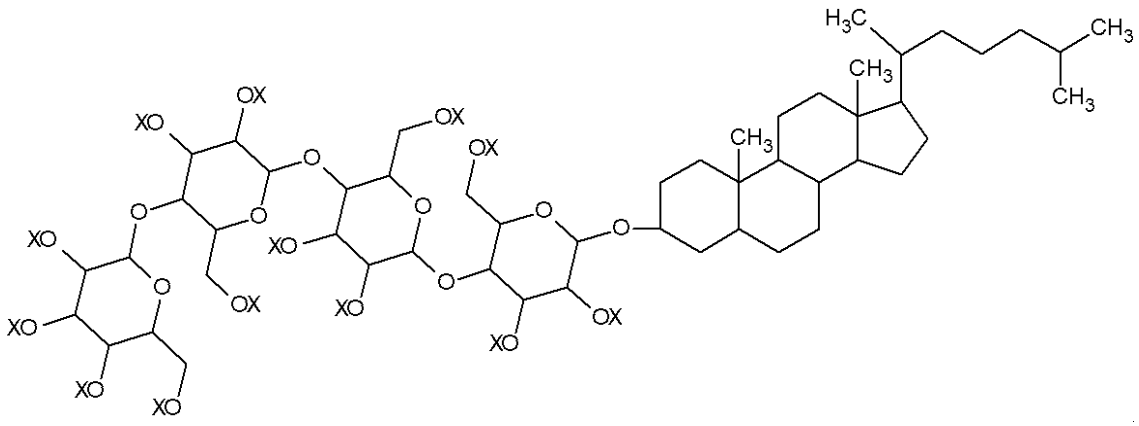
癌が、固形腫瘍である、請求項9～14のいずれか一項に記載の医薬組成物または組合せ医薬。

【請求項１６】

式(I)で示される化合物および免疫チェックポイント阻害剤を含むキットであって、式(

I)で示される化合物が、

【化６】



式(I)

［式中、Xは、SO_3MまたはHであり、Mは、任意の医薬的に許容されるカチオンであり、少なくとも70％のX基は、SO_3Mである］

であり、前記免疫チェックポイント阻害剤がPD-1阻害剤である、キット。